

モニター意見

0423 台風～中越地震～スマトラ沖地震津波を通して

向谷 光彦

昨年度の台風、高潮、豪雨災害は、西日本に甚大な被害をもたらしたことが分かります。また、新潟県中越地震でも、多くの尊い人命が失われたことは、マスコミ報道でも周知の通りである。これに加えて、スマトラ沖地震とそれによって発生した巨大な津波は、最近の日本の災害とは桁違いの犠牲者を発生させている。

人命の重さは同じはずなのに、この惨状を放置しておいていいのだろうか？ 今回のような対照的な災害の様相を比較文化として確立し、アーカイブズ化を進め、設計基準への対応まで見届けなければならないのではないか。これを契機に、アジア諸国の第一線の防災施設整備や情報システムの構築はもちろんのこと、市民レベルへの防災教育を地道に根付かせ、本当の意味での減災文化を推進することが求められているように強く感じている。

スマトラ沖地震津波災害を読んで

中鉢 令兒

非常に興味深く読みました。特に今回の被害を受けた地域が、観光地であり海岸リゾート地である点が強い関心を持ち、学び考えるべき点も多く示唆されました。プーケットやピピ島は、多くの日本人が訪れる箇所であるとともに、タイの観光経済の重要箇所でもあります。利用者にとっての安全のあり方や、設置者の安全施設のあり方を再考する必要があります。現在、観光会社は、こうした天災に対する安全性の確認は、なされないまま宿泊施設を選定しています。またこうした場合の

身体的安全性の知識は、殆どない人が添乗員となっているのが現状です。今回の天災は、多くの課題と再検討すべき点を示しました。第1には、旅行会社の安全性配慮であり安全性確保の教育があります。第2に、沖縄の海洋リゾートの再点検です。万座ビーチやオクマビーチも、津波対策は全くされていないと思います。津波は、地震発生から短時間ですし、他方海洋リゾートのアクティビティは広域でなされます。こうした点に配慮したリゾート地の整備が求められます。今回論文を拝見しまして、沖縄の津波対策に関する調査をし、観光系の学会で発表することを考えています。同じ間違いを日本でしないようにと思っています。たまたま、私が都市計画の専門で観光開発をしているために見過ごせなかったかもしれません。このような速報記事を掲載していただき感謝しております。